

International federation of Biomedical Laboratory Science (IFBLS) に関する報告 IFBLS 理事 小松京子

はじめに

20 世紀末から 21 世紀初頭の世界を特徴付ける最も必要な政治経済現象の 1 つとして、グローバリゼーションがあげられる。

これは国と国との関係を超え世界が一体化していく現象であり、ボーダレス社会の形成だと言われている。しかしながら世界は、異文化あるいは異なる制度的条件から構成された多様な国家と経済で成り立っており、経済的な世界の一体化は困難であろうと考えられているのが現状である。

では、臨床検査技師のグローバリゼーションとは何であろうか。経済のそれは、国家の壁や国の多様性を一挙に飛び越える地球規模での動きをすることである。

我々は、技術のグローバル化ならびに、職種に対する確固たる社会的地位の確立へのグローバル化であろう。

International federation of Biomedical Laboratory Science (IFBLS) は国際臨床検査技師同盟であり、現在おおよそ 32 カ国、世界 165,000 人の臨床検査技師会員から構成される。

日本臨床衛生検査技師会(以下、日臨技)は、1972 年から加盟し、現在までに 4 名の評議員を派遣している。現在までの活動内容と情報に基づき、IFBLS の歴史・現状・未来像について報告する。

1. IFBLS の歴史と現状

① IFBLS の現状

加盟国は流動的であり、以下は 2009 年作成のものである。2010 年にはイギリスとギリシャ、ロシアが加盟することとなった。

BANGLADESH : Bangladesh Institution of Medical Laboratory Technologists

CAMEROON : Cameroon Association of Medical Laboratory Science

CANADA : Canadian Society for Medical Laboratory Science

CHILE : Sociedad Chilena de Bioanálisis de Tecnólogos Médicos Graduados y Postitulados

CROATIA : Croatian Laboratory Association (CLA)

DENMARK : Danske Bioanalytikere Nørre

ESTONIA : Association of Estonian Biomedical Laboratory Scientists (EBÜ)

FINLAND : Association of Biomedical Laboratory Scientists in Finland

GERMANY : Deutscher Verband Technischer Assistenten in der Medizin-e. V

GHANA : Ghana Association of Biomedical Scientists

HONG KONG : Hong Kong Institute of Med Lab Sciences Ltd

ICELAND : Félag Lífefindafraeðinga

INDIA : All India Institute of Medical Technologists (AIIMT)

INDIA : All India Medical Laboratory Technologists Association (AIMLTA)

IRELAND : The Academy of Medical Laboratory Science

JAPAN : Japanese Association of Medical Technologists

KENYA : Association of Kenya Medical Laboratory Scientific officers

KOREA : Korean Association of Medical Technologists

NIGERIA : Association of Medical Laboratory Scientists of Nigeria

NORWAY : Bioingeniørfaglig Institutt (NITO)

PHILIPPINES : Philippine Association of Medical Technologists Inc. (PAMET)

PORTUGAL : Associação Portuguesa do Técnicos de Análises Clínicas & Saúde Pública Techs. Inc.

SINGAPORE : Singapore Association for Medical Laboratory Sciences

SPAIN : Asociación Española de Técnicos de Laboratorio

SRI LANKA : Association of Medical Laboratory Technologists - Sri Lanka

SWEDEN : Institutet för biomedicinsk laboratorievetenskap (IBL)

TAIWAN ROC (TAMT) : Taiwanese Association of Medical Technologists

TAIWAN (TSLM) : Taiwan Society of Laboratory Medicine

UGANDA : Medical Laboratory Technology Association

USA : American Society for Clinical Laboratory Science (ASCLS)

現在 Medical technologists の名称をそのまま残している臨床検査技師会と、Biomedical Laboratory Science に変更している会とが混在している。アジア諸国に Medical technologists の名称を keep しているところが多いのは国民性であろうか。

日本の技師会の名称に関しては、会員諸氏どのように考えるか。このままにしろ、変更を考えるにしろ、意見交換が必要と考える。

② IFBLS の歴史

IFBLS は、1954 年 International Association of Medical Laboratory Technologists(IAMLT) の名称で、Ms.Elizabeth Plescher がスイスの仲間達とともに世界の技師会に声をかけ、立ち上げた。彼女は最初の事務局長であり、1954 年から 1973 年まで業務に就いた後に名誉事務局長となる。

1955 年、最初の学会がイギリスで開催され、定款の草案や国際交流への未来像などが語られた。

19957 年には代表者会議がオランダで開かれ、1958 年に最初の理事と会長が選出された。1964 年スイスでの第 10 回 IAMLT 学会は 400 人の会員が集合し、以後は学会を 2 年ごとに開催することを決定した。

1972 年、IFBLS は非政治組織として、WHO の正式な関連団体として承認された。同年 Ms.Elizabeth Plescher の退任に伴い、Elizabeth Plescher 賞が誕生した。

1988 年第 18 回の IAMLT 学会は日本(神戸)で開催され、多くの参加者が海外から訪れた。IFBLS における大成功の学会のひとつとして多くの会員から記憶されている。

2002 年の GAD にて、教育レベルを反映した呼び名にするべきとの発案により、IAMLT は IFBLS の名称に変更することが決定された。同年、事務局がカナダに移設し、これに伴い、カナダの法律にあわせて定款の見直しが行われている。

現在、IFBLS 役員は会長・前会長・次期会長の 3 役と理事 5 名で構成され、1 名のパートタイム事務局員が勤務している。

③ IFBLS の使命

- ◇ 専門職の繋がり強化
- ◇ WHO 指針に関して IFBLS と連携。
- ◇ CLSI とともに IFBLS 加盟国への支援。
- ◇ IFBLS 加盟国に学術情報の提供。

2. 現在の活動

現在 IFBLS の活動内容は、加盟国の増加への推進と、情報の共有化、Expert group による学術活動、Core competence の確立、学会の開催、WHO や CSLI などへの contact 等がメインである。

ヨーロッパや米国の技師会では開発途上国の IFBLS 会費の支払いを補助して、国際活動への参画を進める動きがあり、少しでも多くの国の臨床検査技師との交流を試みようとしている。

海外ではボランティア活動は盛んで、与える側も受ける側も“金銭でも技術でも、多くを持っているものが無い者に助成するのは当然である”との姿勢があるため、日本人とは少し違う感覚であるかもしれない。

IFBLS の事務局が 2002 年カナダに移動したため、カナダの法律に従った定款の見直しが必要となり、以降、IFBLS 理事会では定款の見直し作業が続いている。

① 加盟国の増減

ここ数年間の間にチリ、カメルーン、パングラディッシュ、等の入会があり、加盟国は少しずつではあるが増加している。

今年度は IFBLS 会長自らがロシアに出向き、検査を司る一部の団体が加盟することとなった。開発途上国では入会後の具体的メリットを確認してくる傾向にある。